30 頁 (8. 自己申告の時期と開示方法 (3) 学術雑誌論文著者らの第三者組織・団体との関わり合い/諸活動/COI 開示 ①著者 (author)

現行

全著者は、投稿する医学雑誌の COI 指針に基づき、第三者組織・団体との関わり合い/諸活動/COI 状態について申告開示しなければならない。通常、責任著者(corresponding author)は論文投稿、査読、および出版のプロセスにおける主たる連絡責任者であり、著者の詳細情報、倫理委員会承認、利益相反申告書の回収と最終確認などの事務的手続きを全て行い、公正性を保証する役割を担う。また、論文公表後は、その研究に対する批判や疑義が生じた場合には当該雑誌発行者からの要請に応じ真撃に対応する立場でなければならない。

改定案

全著者は、投稿する医学雑誌の COI 指針に基づき、第三者組織・団体との関わり合い/諸活動/COI 状態について申告開示しなければならない。通常、責任著者(corresponding author)は論文投稿、査読、および出版のプロセスにおける主たる連絡責任者であり、著者の詳細情報、倫理委員会承認、利益相反申告書の回収と最終確認などの事務的手続きを全て行い、公正性を保証する役割を担う。また、論文公表後は、その研究に対する批判や疑義が生じた場合には当該雑誌発行者からの要請に応じ真撃に対応する立場でなければならない。

31頁(8. 自己申告の時期と開示方法 (3)学術雑誌論文著者らの第三者組織・団体との関わり合い/諸活動/COI 開示 ①著者 (author), ②貢献者 (contributor), ③研究協力者 (non-author contributor) のまとめ部分

現行

投稿論文内容に関連したすべての関わり合い/諸活動/COI 状況に関する詳細情報については、研究者毎に自己申告した ICMJE Disclosure form を提出するとともに資金提供者の役割(Role of funding sources)、貢献者(Contributors)、謝辞(Acknowledgment)を項目立てて論文の中に適切に記載し、著者および協力者の役割と責任を明確にしなければならない(図 5-A).

改定案

投稿論文内容に関連したすべての関わり合い/諸活動/COI 状況に関する詳細情報については、研究者毎に自己申告した ICMJE Disclosure form を提出するとともに資金提供者の役割(Role of funding sources)、貢献者(Contributors)、謝辞(Acknowledgment)を項目立てて論文の中に適切に記載し、著者および協力者の役割と責任を明確にしなければならない(図 5-A).一方、編集者は電子的手法など著者の負担を考慮した COI 申告書の回収方法を提案することが望ましい.